

## 第 2 回審議会の進め方について（案）

市民による取り組み・女性による活動について事例提供し、地域防災における男女共同参画の視点や、女性が能力を活かし、自信を持ってリーダーシップを発揮するためには、どんな視点から取り組みが必要かを探る。

以下の団体等のうちから 2～3 団体に発表していただくことを考えている。

### ○ イコールネット仙台

男女共同参画社会の実現に向けて幅広く取り組む NPO 法人。平成 20 年に、仙台市の女性を対象に「災害時における女性のニーズ調査」を実施し、「女性の視点から見る防災・災害復興対策に関する提言」をまとめた。今回の震災発生に伴い、せんだい男女共同参画財団と協力し、「せんとくネット」を立ち上げた。被災女性のニーズを掘り起こし、支援活動を行っている。

### ○ 岩切・女性たちの防災宣言をつくる会

平成 22 年 6 月 12 日の総合防災訓練で、女性の視点を生かした避難所運営の訓練を初めて本格的に実施。その中で、仙台市宮城野区岩切地区で子育てサークルや町内会活動などの地域活動を行っている女性の方たちが集まり、ワークショップ形式で、話し合いを重ね、問題点を出し合い、「女性たちの防災宣言」をまとめた。震災後は、共助の担い手として、地域で活動した。

### ○ みやぎジョネット（みやぎ女性復興支援ネットワーク）

東日本大震災を受け、被災地女性と全国支援者の思いを結ぶことを目的に発足した。震災直後は、全国から支援物資を集め被災者に届ける活動を行った。その後、サロン活動を展開しながら、被災地の女性の声を受け止め、精神面でサポートするとともに、手工芸等による仕事作り、ホームヘルパー研修の実施など、変化する現状に対応した支援プログラムを実施している。

### ○ せんだい男女共同参画財団

震災直後から「女性の悩み災害時緊急ダイヤル」を開設。日頃から女性の支援に携わる女性たち、市民団体と連携しながら地域のニーズをくみあげ、「せんとくネット」や「MDG ガールズプロジェクト」などの支援活動を立ち上げた。支援の対象として見落とされがちな、10 代の女子や 30～40 代の女性の気持ちに寄り添った支援を行っている。